



Blood Donation Project



日本一小さな県の取り組みを全国へ

令和9年頃、医療用血液が慢性的に不足すると予測されている。その原因は、高齢化に伴う血液需要の増加と献血者数の減少である。特に「若年層」の献血者数は他の年代と比較して少ないのが現状である。

「この状況を変えてみない？」と生徒会に投げ掛けたのが令和2年の1学期であつた。

5名が興味を持ち活動が始まった。

「若年層の献血者数を増やすために同じ志を持つ仲間を増やし、活動の輪を広げる」を活動方針とし、①県内高校の横の繋がりを作り活動②他団体との協働で相乗効果を得る③自校での啓発活動に力を入れるを目標とし、まずは、県下42校へネットワーク結成を呼びかけた。7校の賛同があり、令和3年1月「香川県高校生献血ボランティアネットワーク」を結成した。これからと考えていた矢先に新型コロナウイルス感染症が拡大し、ネットワークメンバーが集まらなくなった。しかし、出来ることを



結成式での取材(丸亀レッツホールR3.1.7)

模索し、ラジオ番組、新聞投書欄への投稿などで献血の協力を訴えた。

毎度始めにはネットワーク参加校を募集し、令和3年度は17校で活動している。

「なぜこの方法で、なぜこのタイミングで、何のために」と考えて活動することは、今後の人生の中で、きつと役立つであろう。

この高校生ネットワークの取り組みを全国の高校生に知ってもらうため、令和2・3年と「高校生ボランティア・アワード」に参加した。



令和3年度 本校の活動メンバー



また、本校は令和3年9月献血推進団体として厚生労働大臣感謝状を頂いた。

令和2年度進路状況

(過年度卒業生を含む延べ合格者数)

○国立大学 23

京都大1 島根大1 岡山3 徳島5
香川大11 高知大1 九州大1

○公立大学 27

公立鳥取環境大1 新見公立大1
尾道市立大1 香川県立保健医療大2
高知工科大2

○私立大学 211

慶応大1 国士舘大1 東京理科大1
早稲田大1 京都産業大1 同志社大2
立命館大9 龍谷大2 大阪経済大6
大阪工業大3 大阪商業大1 関西大2
関西外国語大1 近畿大25 阪南大11
桃山学院大1 関西学院大4 甲南大4
神戸学院大6 武庫川女子大2
岡山理科大11 川崎医療福祉大5
就実大6 広島工業大8 四国大7
徳島文理大24 四国学院大2 高松大4
松山大11 その他49

○短期大学 8

神戸女子短大1 香川短大1 高松短大5
精華女子短大1

○各種専門学校 15

大阪航空専門1 穴吹ビジネス3
穴吹リハビリテーション2 穴吹動物看護1
香川県歯科医療専門1 四国医療専門2
四国総合ビジネス専門1
四国職業能力開発大学校1 その他3

○就職関係 8

島根県警1 自衛隊1 (株)FUJIDAN1
タイヤセンターワタナベ1
大川広域消防署1 帝國製薬(株)2
(有)河井葬祭社1

「香川県立三本松高等学校教育後援基金」 発足

このたび、「香川県立三本松高等学校教育後援基金」を三本松高校内に設立いたしました。

この基金は、香川県立三本松高等学校の教育の充実と発展に寄与することを目的とし、次の事業を行います。

- (1)教育活動全般の充実に関する事業
- (2)学校施設・設備の充実に関する事業
- (3)その他必要な事業

組織としては、この基金の目的及び事業に賛同するものをもつて構成し、資金は、一般の寄付金によるものとします。

役員

代表 名淵 薫
副代表 泉谷俊郎
理事 原 彪
橋本真澄
監査 林 周二

会員の皆様はもとより、地域の方々のご協力を節にお願いいたします。